

# 聖光

サッカー部

新型コロナウイルス感染拡大の影響で各校の部活動が自粛となる中、工夫を凝らした練習を取り入れるチームがある。昨年の県新戦で準備勝ち、今季もプリンスリーグ東

注目選手とチーム紹介  
飛躍の時を待つ  
N.E.を活用する。山田行監督(46)が選手へメッセージと動画を送り、選手からは自主練習の動画を返信してコミュニケーションを図っている。

チーム	所属	順位
青森山田	1位	1位
盛岡商	2位	6位
山形ユース	3位	7位
仙台育英	4位	2位
尚志学園	5位	3位
帝京安積	6位	4位
聖光学院	7位	5位
岩手山形	8位	8位
岩手山形	9位	9位
岩手山形	10位	10位

2020年(令和2年)5月5日(火曜日)

寮のわずかなスペースで自主トレする聖光学院の寮生。①今野主将は自宅の庭でできる練習のタイヤ投げをLINEにアップしている。②中間からの練習動画に刺激を受ける今野主将。③④大会の映像などを編集する山田監督(写真はすべて聖光学院サッカー部提供)



冬の全国高校選手権に向けて!

## LINEでか 聖光学院高等学校 サッカー部

# 元気よくしま 応援宣言!

File No.230

昨年の県新人戦で準優勝し、今季もプリンスリーグ東北に参戦する聖光学院サッカー部は、LINEを活用して`オンライン練習、を行いました。緊急事態宣言の範囲が全国に広がったことで聖光学院は休校となり、サッカー部も休部。山田喜行監督は「最大限のことをやっいていこう」と選手にメッセージや動画を送り、選手は自主練習の動画を返信してコミュニケーションを図りました。

県高校体育大会とインターハイの中止が決定しましたが、冬の全国高校選手権に目標を切り替えました。主将のFW今野大樹さん(3年)は、「1人での練習は精神的にきついです。でも、仲間たちが工夫しながら練習している動画を見て、頑張ろうと思う」と語りました。リフティングやタイヤ担ぎに加え、山道走りや坂道ダッシュなどを行うチームメイトの動画に刺激を受け、自らも走り込んでいます。

### DATA

◆今季のプリンスリーグ東北参戦チーム  
青森山田セカンド(青森)、盛岡商、遠野(岩手)、山形ユース(山形)、仙台ユース、仙台育英、聖和学園(宮城)、尚志、聖光学院、帝京安積(福島)

